西東京市市民協働推進センター

平成 28 年度第 1 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 28 年 4 月 19 日(火)午後 7 時 00 分～9 時 00 分
■開催場所：イングビル 3 階第 1 会議室
■出席委員：池田委員、伊藤委員、熊田委員、坂口委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、田中(友)委員、富沢委員、藤江委員＜以上 9 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、佐藤副センター長、小平福祉活動推進課長、妻屋地域福祉推進課長補佐兼係長、八阪主事

○委員の委嘱
○自己紹介

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、3 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。特に質疑はなかった。

委員長：オープン・コラボ講座についてだが、これは自主グループになるということか。

事務局：現在、ゆめこらぼはサポートという形をとっている。今後の進展によっては関わり方を考えなければならないと考えている。

2. 4 月以降の事業について

事務局より、4 月以降の実施事業について説明があった。

委員長：多摩六都科学館での避難所運営ゲームはどうだったのか。

委　員：過去の中でも最大規模であり、大変好評であった。

委　員：参考までに、参加者の内訳を教えて欲しい。

委　員：参加者はフルタイム職員 30 名ほど、パートタイム職員 10 名ほど、ボランテイア会のメンバー50 数名の参加があり、およそ 95 名での開催となった。平日開催だったため、ボランティア会からは団塊世代の参加者が多かった。

委　員：各学校の避難所運営協議会も連絡会などを作り、動き出しているが、今後のゆめこらぼとの関わり方はどうなるのか。

事務局：今後、ゆめこらぼが直接に関わるかどうかは分からないが、昨年頃から関わりが深くなってきている西東京レスキューバートとの役割分担とか、田無スマイル大学はファシリテーターの育成講座を開催する予定があるなど聞いているので、これらを踏まえ徐々にゆめこらぼと西東京レスキューバートとの関係を変えていくことに取り組みたい。

委員長：南部地域協力ネットワークでゆめこらぼの位置づけは何か。

事務局：ゆめこらぼは会計という立場の役員になっている。NPO を代表するような立場での位置づけで参加している。

委員長：おとぱ＆ミディサロン参加者の男女比はどうなっているのか。

事務局：男女半々である。

3. 今年度の事業および予算について

事務局より平成28年度西東京市市民協働推進センター事業計画・平成28年度西東京市市民協働推進センター活動計画にについて説明があった。

委員長：昨年度は集中的に運営委員会で議論をしていく方針で広報について議論したが、事務局が議論して欲しい議題はあるか。

事務局：まちづくり円卓会議のテーマと方法について議論、検討して欲しい。

委員長：いろいろなテーマがあると思うので、前半で議論していくこととする。計画にある西東京ボランティア・市民活動センターとのイベント共催以外での繋がりはどうなるのか。

事務局：それぞれの運営委員会をそれぞれ傍聴することが出来ないか検討いただいている。具体的には決まっていないが、了解は得ている。

委　員：事業計画の中で、ゆめサロンは「あつまる」ではなく、団体のPRを手伝うという意味で「ささえる」なのか。

事務局：色々な要素があるので分けることは難しいが、「ささえる」になると考えた。

委員長：集中的に議論をしていくテーマと通常のテーマを、傾斜配分的に時間を使っていきたいと考えている。事務局からの提案を待つこととする。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：今週末までに意見がなければ、確定稿とする。

2. 運営委員会について

事務局より西東京市市民協働推進センター運営委員会設置規則・西東京市市民協働推進センター運営委員会の進め方・西東京市市民協働推進センター運営委員会傍聴要領について説明があった。

委　員：提案した主旨としては、既に発行されたチラシなどついてこの場で議論するなどのちぐはぐな部分の解消を提案した。

委員長：基本的は主体性をセンター事務局に持ってもらい、委員から意見をいただく。当事者性をセンターに高めていただくことをお願いする。

委　員：今回の修正案の進め方には問題がないと思うが、次のステップとして運営委員会の回数を減らすことを検討してはどうか。社協側の事務局が一新されたりしているのでこの時期に発言するのはためらわれたが、過去に事務局側から議事録の作成が負担であるなど聞いているのでそのような時間をむしろ事業運営に力を入れてもらう方が良いのではないかと考え、運営委員会の開催回数を減らすことを提案したい。

委　員：報告事項は事前に資料を送付してもらえば十分だと思う。ここで議論しなければならないテーマを絞り込み、議論にもっと時間を使うことを提案したい。

委員長：物理的に回数を減らすことと、この場の議論で事前配布資料に対する説明に時間を使うより、建設的発展的議論に時間を使う2点の提案があった。それぞれメリットとデメリットがあると思うので、今後ゆめこらぼ運営委員会として考えていきたい。

事務局：運営委員会を設置して広く関係団体にご意見を聞くということは、西東京市市民協働推進センターを受託するにあたりプロポーザルの条件の一つとなっている。回数を減らすことは可能であると思うが、回数に関しては、市の担当者と調整をしなければならない。

委　員：事業執行の点で重点事業など基本計画などの月次報告は必要だと考えるが、運営委員会はゆめこらぼを監視する役割だけではなく、西東京市内にたくさんの活動がある中で、ゆめこらぼとして、もっと議論すべきことがあるのではないか。西東京市市民がもっと豊かに活動に参加しやすくするためにはどうすればよいか、参加する人たちを増やすための工夫などについてもう少し議論した方がよいのではないか。

委員長：たくさんの市民の方々に市民活動やＮＰＯに参加していただき活発化させることは、ゆめこらぼの使命であり、運営委員会の権能だと考える。昨年はその一環として、広報についてしっかり時間を取って議論した。運営委員会の回数をどうするかに加え、何を議論するかということや時間の使い方を含めて議論した方が良いと考える。回数と内容を含めてもう少し議論ができればよいと思う。現時点で今回の運営委員会設置規則は確定とする。傍聴要領に関しても確定とし、傍聴者の人数は原則３名とする。

委　員：運営委員会にとって傍聴されるメリットはあるのか。広報してはどうか。

事務局：ホームページで広報していたが、最近はしていない。

委員長：今年度の運営委員会開催日程をホームページにアップするとよいのではないかと考える。

3. 広報・PR 事業について

事務局よりホームページのリニューアル（案）について画面を見ながら説明があった。

委員長：デザインは別とし、大きな柱建てとそれぞれの細かいところについて意見を聞き議論して、確定したい。

委　員：前回の委員会では、すでに活動している人や団体向けだけではなく、ゆめこらぼに関わっていない人を呼び込むためのホームページにしたらどうかという意見があり、そのためのアイデアを出していただくことになっていたと記憶している。それを受けての提案か。

委　員：「西東京市」「市民活動」「協働」「まちづくり」「ボランティア」等で検索をしても、なかなか「ゆめこらぼ」には繋がらない。「市民活動」「協働」では繋がるが、「ボランティア」ではゆめこらぼに繋がらない。ゆめこらぼを知らない一般の人や退職した人は、「ボランティア」「西東京」という言葉で検索すると思う。

委　員：提案の一つがブログだったと思う。検索エンジンでアクセスが増えるというものだったと思うが、意味を説明してほしい。

事務局：前回のご意見を受けて打合せをした。キーワードによってアクセスをしてくる人がゆめこらぼに到達できるようにすべきではないかという話だった。現在のゆめこらぼのコンテンツだと蓄積していくものが非常に少ないため、そこをブログというかたちで修正していけるのではないか、という理由でブログを追加した。

委員長：検索エンジン対策としては、ボランティアセンターに絶対にかなわない。それより無料の広告を出せるので解消できるのではないか。「ボランティア」で検索してゆめこらぼに繋がるようにしてほしいというご意見と市民活動をやりたい人にアウトプットしてほしいという２つのご意見があった。いろんなコンテンツや分野のことに対してブログのご提案があったと思う。検索エンジン対策でのコンテンツとここに盛り込むべきコンテンツとは分けて考えな

ければならない。別々のスキルが必要となる。内容としては、ボランティアという部分でゆめこらぼがきっかけにＮＰＯに関わる人もでてくると思うので、その部分でのコンテンツを増やしてはどうかというご意見で収束する。専門家も交えて話をしてほしい。デザインは全く変わってしまう可能性は高いと思うが、構成とかを含めて何か質問はあるか。

委　員：「活動を知る」というところに団体の機関紙が紹介されているが、所属している団体の一覧表がでるのか。検索すると全部の登録団体がでるのか。

委員長：現在、そのようになっている。ホームページを作る時、フローの情報と固定の情報は分けて考えたほうがいい。フローの情報が、なるべくトップページに置くのが良いと考える。ゆめこらぼの紹介は固定情報だと思うので、フローの情報であるブログは入れない方かよいと思う。別のところに入れたほうが良いと考える。

「活動を応援する」のところに５つを集約すると、一般市民で何もやったことがない人が「活動を応援する」に行くだろうか。あくまでもビジター目線で考えてほしい。プロの意見を聞いて変わってくると思うが、トップページに「これから活動してみたい方へ」「市民活動団体の方へ」というのを表に出した方が、トップページから飛べるのでよいのではないか。

「行政の方へ」というのは前回も議論し、必要ないという意見もあった。西東京市が設置しているセンターのページに西東京市の職員のためのページがあるのは違和感がないか。他市も含めて西東京市の行政との協働事業を展開しているというような内容の作り方にしたほうが良いのではないか。いろんな行政の方に見ていただきたいという作りを考えてはどうか。具体的には、西東京市における市民と行政との協働はこのように考えているというような基本方針の紹介があり、具体的な事業などを入れていく。「西東京市の協働」のプレゼンス性を高めるために、行政職員の声などが入るのもよいかと思う。

委　員：一番欲しいと考えていたコンテンツはなくなってしまったが、１ページ目にゆめこらぼがイメージしている「協働のまちづくり」というものがわかるようなビジュアルがほしい。まずはそこに行き、交通整理されてもよいかと思う。

委員長：クリック数を減らすというところで、全頁がそこに飛ぶというのもいいかと思う。「ＮＰＯの方へ」「市民の方へ」など、どこをクリックしてもそこにいくというのもよいと思う。

委　員：委員長の案でよいと思う。「行政の方へ」を西東京市の行政職員に見ていただき協働のことを勉強していただければよいのではないか。

委員長：西東京市の職員のみを対象にするのはおかしいと思う。

委　員：イベント情報をフェイスブックに集約するという事務局の考え方には反対だ。特定のＳＮＳに頼るのは、利用者目線で考えると偏ってしまう可能性があると思う。ウェブサイトの中のイベントカレンダーの画像や内容情報が、同じようにフェイスブックなどにながれることは積極的にやってほしいと思う。フェイスブックに集約するということについて検討する余地があると考える。

委員長：フェイスブックはフェイスブックで特定の固定客がいる。イベントページについては賛否両論あり、すごく嫌う方もいるのでそこをまた議論すればいいと考える。作り方によっては、本体に記載すればフェイスブックに自動的に流れるように作れる。そのコンビネーションをどうしたらよいかをプロの方をまじえて議論すればいいと思う。

また、方向性はここで確認し、その都度、話を聞かせていただきながら少しずつアイデア

を盛り込めると思う。リニューアル案の方向性を承認するという流れでいいか。
それでは、これで進めて逐次ご報告をお願いする。

3. 協　議　事　項

1. 重要事業の企画について

事務局より地域活動紹介ゆめサロン「保谷地域巡り」（案）について説明があった。

委員長：市内全体を順番にめぐるのか。

事務局：昨年の「まちめぐり」は評判がいい企画だったうえ、違う地域での開催を期待する声も多々あった。昨年の参加者からは、継続して地域デビューシリーズに参加する人や、おとぱ・ミディサロンに繋がっている人が多くいたため、今年度も開催することとなった。年２回の開催で、春バージョンと秋バージョンを考えている。秋は西部地区を予定している。

委員長：西東京市には、歩け歩け系のＮＰＯあるか。

事務局：西東京ウオーキング協会とは連絡を取り、歩くことに関する説明をご依頼したが、活動そのものが目的地を決め個人的に楽しむ活動だったため、歩くことについての話は難しいとのことだった。その他、歩き方などについて話せる人を探したが、謝金等の関係もありお願いができなかった。

委員長：史跡を訪ねたりしている「むさしの歩こう会」という団体がある。ホームページを見るとオリエンテーションとかガイダンスの仕方など、参考になると思う。
企画書の開催概要に要員確保とあるが、市民活動をしている人やボランティアをしている人は要員ではないので違和感を感じる。訂正してほしい。

4. そ　の　他

事務局：次回は運営委員会後に懇親会を開催します。ご案内は別途させていただきます。

委員長：ぜひ、担当課にもお声かけください。

1. 次回運営委員会日程について

日時：5 月 17 日（火）19 時～20 時 30 分
会場：イングビル 3 階　第 1,2 会議室